

I 自己評価

岐阜県立高山工業高等学校

学校番号

59

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた個性豊かで明朗快活な人間性を育成する。 (2) 基礎的・基本的な学力を身に付けさせるとともに、コミュニケーション能力や問題解決能力を育成する。 (3) 勤労を尊び、たくましく生きる力を身に付け、工業を学ぶことに誇りと自信をもたせる。 (4) 学習指導及び部活指導を充実し、文武両道に活躍できる生徒を育成する。
2 現状の分析	○素直で端正な身なりの生徒が多い。また、清掃活動に誠実に取り組む生徒が多い。 ○各学科の資格取得やものづくりに積極的に取り組み、専門科目で習得した知識・技能を生かして地域社会に貢献することができる。 ▲基礎学力やコミュニケーション能力が不足している生徒がいる。 ▲キャリア設計が十分できず、進路実現に向けた主体的な取組が不足している生徒がいる。
3 学校の抱える課題	・基礎学力の充実やコミュニケーション能力の育成のために授業改善を推進する必要がある。 ・学習指導や生徒指導について生徒一人一人に対応するきめ細かい指導が必要である。 ・本校の特色ある取組について、保護者、地域、中学生及びその保護者に対して周知を図る必要がある。
4 今年度の具体的な重点目標	・確かな学力の育成 ・礼儀・マナーの向上と個に応じた指導 ・生徒一人一人の将来設計指導と進路希望の実現 ・開かれた学校づくり

年 度 目 標			年 度 末 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
学習指導	① 基礎的・基本的な学力の定着 授業改善、生活記録、自学ノート	① 授業アンケート調査、定期考査得 点状況、課題取組状況	① 高工ユニバーサルデザインに基づいた授業の 実践、生活記録の活用、自学ノートの 効果の実施方法の活用	B	○個に応じた指導の充実 ○生徒の主体的な取組の増加 ▲組織的な授業改善の推進	A  B
	② コミュニケーション能力と問題解決能力 の育成	② 研究指定3推進事業への評 価、商品開発、販売の状況	② 言語活動を取り入れた授業の実践 研究指定3推進事業の商品の拡充・教 育課程への位置付け	A		
生徒指導	① 挨拶の励行、身だしなみ指導・ マナー向上	① 身だしなみ指導結果、迷惑 調査結果	① 校門挨拶運動の充実、迷惑調査の改善 、ノーマルイデイズの実施、安全運転講習 会の実施	B	○挨拶意識の高揚 ○課題のある生徒に対する指 導の充実 ▲障がい者差別解消法への対 応 ▲個別の支援計画の作成	C  D
	② 生徒一人一人のきめ細かい指導 職員研修、生徒情報の組織的共 有化、外部専門家の知見取入れ	② 生徒出欠状況、生徒異動数 、ケース会議数、外部専門家派 遣要請回数	② ケース会議・ネットワーク会議の実施、外部の 専門家の活用、教育相談週報の作成、 個別の教育支援計画作成	B		
進路指導	① 専門的技術の向上、ものづくりコ ンテストの技能向上	① 資格の取得状況、ものづく りコンテストの成績	① 高度資格の取得推進、ものづくりコンテ ストにおける外部講師活用	A	○保護者の進路意識の啓発 ○高度資格の取得 ○各種コンテストの入賞 ▲進路設計が十分できない生 徒への対応	
	② キャリアプランニング能力の向上、企業 見学等の推進、進路先研究	② 企業見学実施状況、卒業生 と語る会の実施状況	② P Tフォーラムの実施	B		
学校経営	① 社会貢献活動の推進	① 活動実績、志望者数	① 小学生のものづくり教室の実施、特別 支援学校との交流、祭屋台のLED化	A	○志願者の増加 ○メールによる保護者への情 報提供の充実 ▲分かりやすい情報発信の工 夫	
	② 広報の充実 学校紹介ビデオ、中学校への広 報、地域への広報	② 教育週間来校数、紹介ビデ オ、HP、自治会回覧	② 保護者メールの充実、高工インフォメーション冊 子の中学校への配布、中学校における 作品展の実施、中学生一日入学の休日 実施	B		

II 学校関係者評価 実施年月日：平成29年1月28日			12 来年度に向けての改善方策案			
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営全体として、生徒を大切に、適切な評価がなされており、現在の活動や取組を継続・充実させてほしい。</li> <li>高工ユニバーサルデザインに基づいた授業改善を継続して充実させてほしい。</li> <li>個別の支援計画作成により、障がい者への具体的対処が重要であると感じる。</li> <li>進路意識を早い段階から植え付けさせることが必要である。</li> <li>高山工業の良い流れを今以上にもっと地域、保護者へPRするための方法を検討してほしい。</li> <li>広報についてはメールでの連絡が行き届いている。昨年度よりも広報がなされたことがうかがえる。是非継続してほしい。</li> <li>本校を卒業したという誇りと自信を植え付ける指導を継続してほしい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>高工ユニバーサルデザインに基づいた授業実践の継続、言語活動、アクティブラーニング型授業について組織的な研究と実践を図る。</li> <li>学習習慣の定着に向けて、「自主学習ノート」継続し、難関企業就職及び大学進学希望者向け補習等により学力向上を図る。</li> <li>いじめ、不登校、自殺予防について組織的に対応を図る。</li> <li>県立高校改革リーディングプロジェクト推進事業の内容を継続する方法を図る。</li> <li>進路講話、進路ガイダンス、企業見学等の積極的実施により、キャリア教育の一層の充実を図る。</li> <li>ホームページや「からくり」、「活力ある高工」の改善により保護者、地域への積極的な情報提供を充実する。</li> <li>個別の教育支援計画の組織的な作成〈障がい者差別解消法〉</li> </ul>			